

平成 年 月 日

下記依頼書の太字枠内に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送にて下記のところまでお申し込みください。

〒519-3605 三重県尾鷲市中井町12-14

協同組合尾鷲観光物産協会(尾鷲セラピストの会事務局)

■FAX:0597-23-8263 TEL:0597-23-8261

## 尾鷲セラピストの会 依頼書

別紙「尾鷲セラピストの会 注意点」及び「紀伊山地の参詣道ルール」の内容につきまして、同意いたしましたので、下記のとおり尾鷲セラピストを依頼します。

依頼者記入欄	氏名 (団体名)	担当者 <span style="float:right">印</span>
	住所	
	担当者連絡先	
	FAX 番号	
	メールアドレス	
	セラピストご希望日時	平成 年 月 日 ( ) 時 分～ 時 分
	ツアー名	
	ご希望の峠・コース	馬越峠 / 天狗倉山 / 三木・羽後峠
	参加人数	人
	セラピスト依頼人数	人 (セラピスト1人でご案内できる上限は約10人です)
	待合わせ場所	
	待合わせ時間	
	交通手段	自家用車・JR・バス (大型・中型) 台 熊野古道シャトルバス・その他 ( )
	お支払い方法	当日現金 ・ 前日まで振込
備考		

# 尾鷲セラピストの会依頼受理書

このたびは、尾鷲セラピストの会へのご依頼ありがとうございます。依頼書を受理いたしましたのでお知らせいたします。

なお、別紙「尾鷲セラピストの会注意点」の⑫のとおり、事故等につきましては、当会およびセラピスト個人のいずれも一切の責任を負いませんのでご了承ください。不慮の事故に備えて、旅行保険等を事前に手配していただきますようお願いいたします。

お客様名	様
出発日	
待合せ場所	
待合せ時間	
担当セラピスト	
担当セラピスト連絡先	
受理日	平成 年 月 日 (受理番号 )

# 尾鷲セラピストの会 注 意 点

① 尾鷲セラピストがご案内させていただく基本ルートは下記のとおりです。

1) 馬越峠(紀北町～尾鷲市) 2) 三木峠～羽後峠(尾鷲市)

## ※その他応相談

② 料金(必要経費)は、セラピスト1人につき1ウォーク6,000円(馬越峠、三木峠・羽後峠)天狗倉山は10,000円、八鬼山越えは11,000円です。

③ セラピストが1人でご案内できる人数は約10名です。なお、大型バス(定員46名程度)等でお越しになる場合は、バス1台につき4名でご案内いたします。

④ セラピストは、添乗業務を含みません。古道を歩かれる時には、添乗員の方または、セラピストと打ち合わせされる方が必ず同行されることを前提としてください。

⑤ セラピストは、熊野古道を健康的に楽しく安全にご案内することを目的としております。運動療法や水療法(クナイプ療法)等の手法を取り入れながら歩きます。

セラピストのペースに合わせてお歩きください。

⑥ お客様とセラピストの安全確保のため、次の(1)(2)のいずれかに該当する場合は、尾鷲セラピスト案内の実施はいたしません。予めご了承ください。

(1) 案内予定地域に警報が発令されている場合(ただし、波浪警報、高潮警報は除く)

(2) 当日の古道の状況により、尾鷲セラピストが危険と判断した場合

※(1)の場合は、現地で警報が発令された時点で適用となります。当日の、気象庁の発表等には十分ご留意ください。

※なお、この取り決めはあくまでセラピスト案内実施の有無にかかるものです。ツアー等の催行自体については、主催者にてご判断いただきますようお願いいたします。

⑦ 古道歩きは、午前中のスタートを基本に余裕をもった行程・時間を設定してください。

(下山時が日暮れになると精神的にも不安になり、事故・遭難の危険性が高くなります。)

⑧ 古道歩きには、履き慣れた靴、雨具等、山歩きに適した服装、装備をお願いいたします。

⑨ セラピスト育成研修の一環として、担当セラピスト以外が同行させていただく場合があります。予めご了承ください。

⑩ セラピスト依頼書は催行日の基本2週間前までにご提出ください。

(直前の依頼には対応できない場合があります。)

⑪ セラピストの手配が済み次第、担当セラピストをご連絡致します。当日の待ち合わせ場所、時間等につきましては、必ず事前(できれば催行日3日前ぐらいまで)に担当語り部と直接、打ち合わせてください。

⑫ セラピスト案内中の事故及び⑥の理由によるセラピスト案内の中止等につきましては、当会及びセラピスト個人のいずれも一切の責任を負いませんので予めご了承ください。不慮の事故に備えて、旅行保険等を事前に手配していただきますようお願いいたします。

# 紀伊山地の参詣道ルール

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、万物、生命の根源である自然や宇宙に対する畏敬を、山や森に宿る神仏への祈りという形で受け継いできた、日本の精神文化を象徴する文化遺産です。

私たちは、このかけがえのない資産がもたらす恵みを、世界の人々がいつまでも分かちあえるよう、参詣道を歩くにあたって次のことを約束します。

## 1 「人類の遺産」をみんなで守ります

紀伊山地の自然や文化にふれ、学び、私たち共有の資産の素晴らしさを、みんなの力で末永く後世へ伝えましょう。

## 2 いにしえからの祈りの心をたどります

この道には、祈りを捧げてきた多くの足跡が刻まれています。今なお続く人々の心に思いを馳せながら歩きましょう。

## 3 笑顔であいさつ、心のふれあいを深めます

出会った人と声をかけあい、また地域の人々とも交流を図りましょう。

## 4 動植物をとらず、持ち込まず、大切にします

貴重な動植物が生息する紀伊山地では、存在するもの全てが大切な資産です。自然を愛し、守る心を持ち続けましょう。

## 5 計画と装備を万全に、ゆとりをもって歩きます

道中は何が起こるかわかりません。中には険しい道もあるので、天候、体調、装備などを十分考えて、無理をせず歩きましょう。

## 6 道からはずれないようにします

道をはずれることは危険であり、植生などを傷めることにもなります。むやみに周囲に踏み込まないようにしましょう。

## 7 火の用心をこころがけます

タバコのポイ捨てなど、ちょっとした不注意から火災は起こります。火気の取り扱いには十分注意しましょう。

## 8 ゴミを持ち帰り、きれいな道にします

地域の人たちが古くから守りつづけてきた道です。ゴミを持ち帰り、来た時よりも美しい道にしましょう。